

地元野菜の魅力を伝える

町では、有機農業産地づくりの一環として学校給食に町内で生産された有機野菜を使用しており、7月から8月にかけて生産者と学校給食センターの栄養士が町内の小中学校を訪問し、理解を深める活動を行っています。

7月19日には生産者の黒澤繁雄さん(造石)と塚田周司さん(天引)が新屋小学校を訪れ、4年松組で授業を行いました。黒澤さんは「地元の野菜を食べて元気に育って欲しい。そのためにおいしい野菜を届けます」とその思いを語りました。



カボチャを手に説明をする黒澤さん(右)と塚田さん



授業の後は、地元のカボチャやジャガイモなどが入った「かんら町野菜カレー」が給食に登場

地元野菜に興味を持ち授業が終了してからも熱心に質問する児童の姿もありました。山崎遥斗さんは「作ってくれた人の思いを聞いて、これからも給食をおいしくいっぱい食べたいと思います」と感想を話しました。

町では、今後も給食事業における地産地消や食育の取り組みを推進していきます。

みんなでカレー作り かんら保育園

かんら保育園(妙見良子園長)では7月20日、「わくわくクッキング」と題したカレー作りを行いました。

このイベントは、食材に触れ、調理の過程を楽しみ、出来上がった料理を食べその喜びを感じることで、食習慣や食に対する基礎的な考え方を身につけてもらうことを目的としています。全クラスが役割を分担し0・1歳児はシメジを割く、2歳児は枝豆をむく、3歳児はピーマンの種を取る作業をそれぞれ行いました。



「お米をとぐとお水が白くなるね」

4歳児は、米とぎに挑戦。「おいしくなあれ」と言いながら1人10回ずつお米をかき混ぜました。年長児(5歳)はニンジンの皮をピーラーでむきました。「ちょっと難しかった」「おうちでもしているから簡単だったよ」と口々に話しました。

その後、給食室で調理されたカレーを年長児が数人ずつに分かれて各クラスに行き、盛り付けや配膳を行い、この日はクラスの垣根を越えて一緒にカレーを楽しみました。



「みんなで作ったカレーだよ 勝手に盛り付けできるよ」

北関東を制す 陸上女子1500m 落合さん

関東高等学校陸上競技大会が6月16日から19日にJITリサイクルインクスタジアム(山梨県甲府市)で行われ、落合優希奈さん(福島・新島学園2年)が北関東女子1500mにおいて4分37秒06の記録を出し初優勝を飾りました。

同800m(2分12秒98)でも第3位に輝き、北関東地区で上位の成績を収めた2種目で8月に北海道札幌市で開催される全国高校総体(インターハイ)への出場権を獲得しました。

落合さんは「今年もインターハイの舞台に立つことができうれしいです。支えていただいた多くの方に感謝し、自分にとって意味のある大会になるようベストを尽くします」と意気込みを話しました。



トップ選手から 技術を学ぶ ～甘楽町・東京都北区 ソフトテニスで交流～

甘楽町ソフトテニス連盟(外所淳也会長)と、北区ソフトテニス連盟(高川庚三会長)は6月23日～25日、25回目を数える恒例の交流事業を行いました。最終日に総合公園テニスコートで開かれた「ジュニアソフトテニスアカデミー」には、町内外から約80人の選手が参加しました。講師にヨネックス男子監督の高川経生さんと浅川陽介さん(ともに元全日本選手権大会覇者)を迎え、技術向上のポイントなどを学びました。



参加者で集合写真

七夕の短冊に願いを込めて

めぶきの森かんら(矢野勅仁園長)の園児は7月7日、七夕にちなんだブラックパネルシアターを観賞しました。暗くなった部屋でブラックライトで光る天の川を見た子どもたちは「お星さま光ってるね」などと話し、七夕の伝説に興味津々で見入っていました。

園舎内には、一人一人の願いごとが書かれた短冊と折り紙で作られた飾りに彩られた笹が登場し、園児たちは七夕の雰囲気を楽しみました。



美しく輝く幻想的なパネルシアター



自分の短冊を見つけてる年長児

花の寄せ植えで元気に

町生活改善グループ連絡協議会(井上せつ子会長・はこべの会、裏根グループが所属)は6月19日、町内の施設に設置しているプランターの植え替え作業を行いました。今回は、アフリカンマリーゴールドやペゴニアなど暑い夏でも色鮮やかに咲く花の苗を植え、楽山園番所前や道の駅甘楽など町内外の人が多く訪れる9カ所に届けました。

井上会長は「町を訪れる人が明るい気持ちになれるよう、夏の暑さにも強く元気が出る花を寄せ植えしました。私たちも元気に頑張ります」と話されました。



大輪のひまわりが咲く

上野地区の町道小船、三ツ俣線沿いに夏の日差しを浴びて色鮮やかにひまわりが咲きました。

長岡正治さん(造石)が、5月ごろに種をまいたものが大きく育ったのもので「花を見た人が元気になるよう、また来年も咲かせたい」とその思いを話してくれました。

暑い日が続く中、大輪のひまわりが行き交う人々を魅了しました。



社会を明るくする運動

「社会を明るくする運動」富岡甘楽推進委員会が7月3日に役場を訪問し、内閣総理大臣からのメッセージを富岡甘楽保護区保護司会の佐藤 明さん(小川)が、群馬県更生保護女性会員からのメッセージを町更生保護女性会の吉田ひろ子さん(上野)がそれぞれ読み上げ、メッセージ伝達を行いました。

この運動は73回目を迎え、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、多くの人々が力を合わせ、犯罪や非行のない明るい地域社会を築こうと取り組んでいる全国的な運動です。



メッセージを朗読する佐藤さん(左)と参加者の皆さん

少年の主張 西部地区郡大会

第3回少年の主張西部地区郡大会が7月1日、甘楽町文化会館で開かれました。

甘楽、下仁田、南牧、神流、上野の5町村を代表する8人の中学生が、日常生活の中で感じたことや考えたことなどを発表しました。町大会で最優秀賞を受賞した甘楽中の土筆心愛さん(2年)、大澤晴空さん(3年)、森田望花さん(3年)が出場し、審査の結果、森田さんが最優秀賞に選ばれました。

森田さんは、8月5日に榛名文化会館エコール(高崎市)で開かれる西部地区大会に出場します。



土筆さん、森田さん、大澤さん